

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	シミュレーション						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	五反田 博 Hiromu GOTANDA、白土 浩 Hiroshi SIRATSUCHI						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションの必要性や効果、限界を説明できる。(C3) ・シミュレーションツールを使って、基本数学関数の描画や微分・積分等の数値計算ができる。(A1,A2,A3) ・シミュレーションツールを使って、数値計算結果を分かりやすく視覚化できる。(B2,C3) ・位相と時間遅れの関係や振幅と実効値の違いを説明できる。(C3) 						
日程と内容	09月20日	概要説明・三角関数概論					
	09月27日	三角関数の基礎					
	10月04日	三角関数の合成					
	10月11日	極座標変換					
	10月18日	総合演習(1)					
	10月25日	オイラーの公式					
	11月08日	総合演習(2)・臨時試験					
	11月09日	Excelによるグラフ描画					
	11月15日	剰余を用いた乱数生成					
	11月22日	三角波の描画					
	11月29日	微分					
	12月06日	積分					
	12月13日	総合演習(3)・臨時試験					
	12月20日	総合演習(4)					
	01月10日	定期試験					
	01月21日	復習演習					
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習	10%	計			100%	
授業到達目標の達成度	概ね目標は達成できたと考える。						
反省点	本講義では、今年度よりLMS(Learning Management System)として、moodle を用いた講義資料配信およびレポート提出、試験の一部をオンライン試験化した。一部、難しく感じる学生がいたようだ。また、試験後にアンケートを実施したため一部の学生から採点基準についての意見がでているが、この点については学生の主張を聴取した上で採点基準の調整を図っている。						
来年度の計画	LMSによる講義資料の準備が概ね整ってきたので、来期は講義中の小テストを積極的に採用するなどして、オンラインテストになれて貰うように工夫する。また、講義資料についてもLMS対応化をさらに進めて行く予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	試験後に授業評価アンケートを実施したため、一部、成績に不満を持つ学生が極端に低い点数を付けているが、その他は概ね良好な評価であったと考える。 尚、臨時・定期試験については、事前に模擬試験を実施し、採点基準を明確にしており、さらに試験実施後、採点基準に関する意見を聴取する場を設けていたので、アンケートではなくその場で意見を申し出て欲しかった。その方がお互いにとって良い結果に繋がったのではないかと考える。						
履修登録者数	68名	定期試験受験者数	62名	合格者数	42名	合格率	68%